

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		環境審議会開催事務		担当課	生活環境課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間	平成 6年度～
	施策	生活環境の保全		種別	法定事務
	基本事業	環境保全活動の推進		市民協働	事業協力
予算科目コード		01-040103-05 単独	根拠法令・条例等	環境基本法第44条、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の7、守谷市環境審議会条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 市長の諮問に応じ，守谷市環境基本計画に基づく環境保全に関する基本的な事項及び一般廃棄物の減量，適正処理，再利用の促進等に関する事項について調査審議し，答申を行う。
環境基本法第44条，廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の7に基づき，平成6年に守谷市環境審議会条例を策定した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
環境保全に関する基本的な事項及び一般廃棄物の減量，適正処理，再利用の促進等に関する事項について調査・審議し，環境保全活動の推進及び市の施策推進に貢献している。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民や事業者が，自然環境を大切にする生活や行動を促進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
環境保全に関する基本的な事項及び一般廃棄物の減量，適正処理，再利用の促進等に関する事項の調査審議し，答申を行う。	9月 第1回審議会開催 2月 第2回審議会開催
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
第2次環境基本計画における環境指標の達成状況の把握及び評価を早めに実施し，環境審議会に報告し精査を受けることで，当該計画の適切な進行管理を図る。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	報酬と費用弁償は最小限の経費であり，削減の余地はないため，現状維持とする。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
適切な内容・時期により開催し、審議の場を設けることで、市の環境保全を進めることができた。	昨年同様、適切な内容、時期での開催を通して市の環境保全を進めることができた。 9月開催の審議会においては、「守谷市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例について」の審議を行い、12月議会において議決され、施行することができた。 2月開催の審議会では、翌年度の市内の一般廃棄物処理を行うための計画である「平成31年度守谷市一般廃棄物処理実施計画」を審議し、承認に至っている。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
審議会開催数（回）	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00
審議件数（件）	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	案件に応じて開催しているため不定期であるが、審議会を継続して行うことにより、成果の維持を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	環境保全についての審議・諮問機関であるため、現状維持とする。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	124	58	116	130	130
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	124	58	116	130	130
正職員人工数（時間数）		321.00	50.00	76.00	50.00	50.00
正職員人件費		1,316	205	317	0	0
トータルコスト		1,440	263	433	130	130